

啄木と鉄道について

TAKUBOKU TO TETSUDO

きり かうま はら ていしゃば あさ むし
霧ふかき好摩の原の 停車場の 朝の蟲こそすずろなりけれ

明治24年満5歳の時、ついに日本鉄道上野―青森間が全通し、啄木の故郷には好摩駅が開業しました。彼が歌にも詠んだ、あの「好摩の原の停車場」です。これ以降、実はどこへ行っても鉄道がある場所で暮らした啄木。「鉄道」とは、彼にとってどんな存在だったのでしょうか。

「鉄道」をキーワードに彼の人生や作品、そして明治時代の鉄道遺構を紹介した本企画展。講演会では、企画展担当者が事前準備の裏話も交えながら、さらに詳しく紹介します。

*好摩駅は、2021年9月1日で開業から130周年を迎えました。

*第15回企画展「啄木と鉄道」は2022年1月23日まで開催中。

■日時 2021年 **10**月**24**日(日)
13:30~15:30

■会場 渋民公民館（姫神ホール）2階大会議室

盛岡市渋民字鶴塚55

■講師 石川啄木記念館

主任学芸員 鳥取 邦美

■参加費 無料

■定員 50名（先着順）

※申込不要、直接会場へお越しください。

ご参加の皆さまへ

ご参加の際には、マスクの着用・手指消毒等感染対策にご協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や変更となる場合があります。当館ホームページやツイッターにて最新の情報をご確認ください。

〈お問い合わせ〉

石川啄木記念館 指定管理者（公財）盛岡市文化振興事業団

〒028-4132 盛岡市渋民字渋民9 TEL: 019-683-2315 FAX: 019-683-3119



ホームページ



Twitter